

# 令和7年度 第1回学校運営協議会

1 日 時 令和7年5月20日（火）午後2時30分から4時00分まで

2 場 所 静岡県立掛川西高等学校 小会議室

3 次 第

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校運営協議会委員委嘱
- (3) 学校運営協議会委員自己紹介、会長・副会長の互選
- (4) 学校職員自己紹介
- (5) 学校の概要説明
- (6) 議事
  - ・令和7年度学校経営計画について
- (7) 学校の近況報告（教務課、生徒課、進路課、研修課）
- (8) その他

4 出席者

学校運営協議会委員（敬称略）

井上 美千子	しずおか共育ネット 代表理事	5年目
高林 和徳	静岡新聞社掛川支局 支局長	4年目
小澤 哲夫	静岡理工科大学 統括副学長	2年目
石山 基和	掛川市役所企画政策部 企画政策課長	1年目
相場 啓嗣	掛川西高 PTA 会長(次期)	1年目

※ 年数は、学校評議員の年数も含む

本校職員

大石 正佳(数)	校長
岡野 哲也(理)	副校長
吉野 友三(保体)	教頭
小嶋 唯起子	事務長
大橋 雅則(数)	教務主任
松浦 弘季(数)	生徒指導主事
大村 生実(国)	進路指導主事
青木 紀文(国)	研修主任

5 欠席者（敬称略）

岡田 智行	掛川市立北中学校 校長	2年目
-------	-------------	-----

※ 年数は、学校評議員の年数も含む

## 令和7年度第1回学校運営協議会・議事録

井上：学校運営協議会の役目の一つとして、学校運営の基本方針の承認がある。

校長から、今年度の学校経営計画の説明をする。

校長：学校経営計画を説明。その後、R8 スクールポリシーと今後の部活動の在り方について検討中であることを説明。

井上：スクールミッション、スクールポリシー、スクールポリシー具現化の柱について質問はあるか。

小澤：大学ではポリシーが4つあり、各教科にどのように落とし込んでいるかを示している。また、教育活動全体を俯瞰で見た時にバランスがとれていれば良いと考えている。参考にしてもらえれば。探究活動については、何をどう伸ばすかという点を数値化できるのではと感じた。

石山：地域連携とは、具体的にどのような取り組みをしているのか。

副校長：中東遠総合医療センターと連携したり、町おこし・商品開発などで地元の企業と連携したりして（青木T）いる。伝統工芸などで匠宿とも連携をし、大学のインターカレッジで発表なども行っている。

相場：スクールポリシーというのは、毎年固定なのか。

副校長：R4年度入学生から指導要領が変わる時に、校内全体で検討し現在のよう示し方になった。

井上：CTでループリックを示していると思うが、経産省のアンケートが無料で使用できるので情報提供する。

井上：本年度の取り組み、ア、イ、ウについて質問はあるか。

高林：各学年、各教科の重点目標とあるが、どのように作成しているのか。

校長：年度当初に管理職が分掌課長と学年主任と面談し、グループ目標を示してもらっている。その後にそのグループ目標から、個人が目標を立てている。

井上：本年度の取り組み、エ、オ、カ、キ、ク、ケについて質問はあるか。

高林：昨年の年度末評価から、学校のウィークポイントをどのように考えているか。

校長：地域防災訓練への参加率の低いことと働き方改革についてだと考えている。前者について、今年はテスト終了後になるのでその様子を見たい。後者については、労働時間を短くすればよいというものではなく、先生方と考えながらやりがいは保ちつつ、メリハリのある働き方を目指していく。

井上：部活動について検討中で、中学生が不安にならないようにと校長から発言があったが、具体的にどのようなことを指しているのか。

校長：部活動が地域移行となり、部活動をやることができなくなる中学生が、高校でどのような活動ができるのかということを発信できるように本校の部活動について検討していく。

相場：スマホと交通安全をならべて目標を立てているのは意味があるのか。

校長：そのこと自体に大きな意味はない。ヘルメット着用者の数は増えているように感じている。

石山：理数科の志願倍率1.1倍という数字に意味はあるのか。

副校長：倍率が高ければ良いというわけではなく、受検者が多すぎれば不合格になった場合、私学に流れてしまう一面もある。また、掛西ラボを通して科学の楽しさを伝える取り組みもして魅力の発信に努めている。

以上